

研究・調査報告書

| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
|--|--------|---------------------|
| A-71C | 16-067 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| Alcohol Intake is Associated with Increased Risk of Squamous Cell Carcinoma of the Skin: Three US Prospective Cohort Studies. アルコール摂取は皮膚扁平上皮癌の増加と関連する：米国の3つのコホート研究より | | |
| 執筆者 | | |
| Siiskonen S, Han J, Li T, Cho E, Nijsten T, Qureshi A. | | |
| 掲載誌 | | |
| Nutrition and Cancer. 2016 Vol68 No.4 545-553 | | |
| キーワード | | PMID |
| 扁平上皮癌、アルコール、上皮内癌 | | 27145335 |
| 要 旨 | | |
| 目的： 扁平上皮癌は基底細胞癌に次いで多い皮膚癌である。リスクファクターとして加齢、男性、スキンタイプ、薄い・赤色の毛髪、免疫抑制剤使用等があるが、最も重要なのは紫外線蓄積量とされている。飲酒が基底細胞癌の増加に関連することは報告されているが、扁平上皮癌と基底細胞癌の細胞由来や分子経路は異なるため、飲酒と扁平上皮癌についての関連を検討した。 | | |
| 方法： NHS, NHSII, HPFS というアメリカの男女の看護師からなる3つのコホートを用いて検討した。既往歴や生活習慣に関する質問を2年ごとに行った。構成員の95%が白人であったので白人以外の人種は除外、癌既往を有する人、飲酒量のデータがない人も除外した。比例ハザードモデルを用い飲酒と扁平上皮癌の関連を解析した。 | | |
| 結果： 平均19年間の追跡で得られた4,234,416人年のうち2,938の扁平上皮癌、1,590の上皮内扁平上皮癌を認めた。1日に12.8gの飲酒量増で扁平上皮癌は22%増え(RR1.22, 95%CI1.13-1.31)、上皮内扁平上皮癌は14%増えた(RR1.14, 95%CI1.04-1.26)。喫煙と飲酒量には正の相関があった。20g/日以上アルコール摂取の扁平上皮癌に対する人口寄与危険度は3.0%、上皮内扁平上皮癌に対しては2.2%だった。白ワインを週5杯以上飲酒するとRR1.31, 95%CI1.09-1.59と扁平上皮癌が増加したが、他の種類のアルコールでは飲酒量増との関連はなかった。 | | |
| 結論： 扁平上皮癌は侵襲的なもの、上皮内癌ともにアルコール摂取と量依存的に増加する。この関連性は扁平上皮癌の他のリスクファクターとは独立していた。この研究は扁平上皮癌と飲酒に関する最大の前向き大規模疫学調査である。 | | |